

JACLaP WIRE No.180 (臨時増刊号) (2016年 8月 4日 発行)

本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞JACLaP WIRE No.180です。

===== << 目次 >> =====

寄稿：
臨床検査領域の2017年度(平成29年度)の専門医養成について
臨床検査専門医の次回以降の更新について
第63回学術集会における単位認定講習会のDVD配布について

===== << JACLaP WIRE >> =====

新専門医制度の整備状況について、矢富 裕先生、山田 俊幸先生より寄稿いただきましたので、会員の先生方にはWIREとして配信します。

===== << 寄稿 >> =====

日本臨床検査医学会
研修施設責任者 各位

日本臨床検査医学会理事長 矢富 裕
同副理事長(日本専門医機構連絡委員) 山田 俊幸

「臨床検査領域の2017年度(平成29年度)の専門医養成について」

平素、当学会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。

日本臨床検査医学会は臨床検査専門医の養成を、2017年度から日本専門医機構の枠組みで行うべく準備を進めてきました。各施設のご協力により、現在までに72の研修プログラムが一次審査で認定されております。しかし、日本専門医機構(以下、機構)はその旧体制の解散前に「プログラム制の機構による運用を見送り、学会運用による試行とする」との方針を表明しました。これを受け、当学会理事会では、「プログラム制と現行制度の併用」の方針を決め、6月17日の学会ホームページにおいてご案内させていただきました。

しかし、その後、一新された機構執行部は7月25日の社員総会において、「新制度の開始を延期し、2017年度は原則プログラム制ではなく、現行の学会専門医制度で行ってほしい」と表明しました。学会独自でプログラム制を開始することは不可能ではありませんが、専攻医の混乱を避けるために、本学会理事会では、機構の方針に従い、「2017年度の臨床検査専門医の養成については、現行の学会認定制度を運用する」ことを緊急決定しました。新制度に向けて多大な労力をかけてご準備いただいたのに誠に申し訳ありません。2018年度以降の運用に向け、よりプログラムの充実を図る所存ですので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。2017年度の運用におきましては、以下追加説明させていただきます。

なお、本ホームページの同じ欄に専攻医向けの案内を掲載しておりますので、それをご参照ください。

(1)募集は各施設で行ってください。統一した締め切りは設けません。
雇用など各施設の事情に応じた採用をお願いします。

(2)研修を開始後、「臨床検査専門医卒後研修登録表」を指導責任者が学会に提出してください。なお、念のための案内になりますが、少なくとも2020年度までは現行の専門医認定試験が実施されることとなります。それまでに受験を予定されている現在研修中の専攻医にも、「臨床検査専門医卒後研修登録表」(開始年の明らかなもの)の提出を徹底してください。提出のない場合は受験資格審査で「資格なし」となります。

(3)今回一次審査で認定されたプログラムは、おそらくは軽微な変更をお願いして再提出いただき、再度領域内で認定して機構の二次審査を受けていただくことが予想されます。また、学会としては他基本領域の専門医を持つ方が臨床検査専門医を取得するための研修用のプログラムを準備することを考えています。その場合、そのようなオプションプログラムの作成をお願いすることになる可能性があります。以上のことは機構との交渉が必要で、現時点では未定な部分が多いため、明らかになり次第改めてご案内します。

(4)不明な点は学会事務局office@jslm.orgまでお尋ねください。

臨床検査専門医、特に次回更新予定の方へ

日本臨床検査医学会理事長 矢富 裕
同副理事長(日本専門医機構連絡委員) 山田 俊幸

「臨床検査専門医の次回以降の更新について」

平素、当学会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。

日本臨床検査医学会は臨床検査専門医資格の更新において、2017年1月付け(次回)更新から日本専門医機構(以下機構)認定専門医としての更新の導入を予定し、去る6月23日には学会ホームページにおいて次回更新者に詳細な要件を案内させていただきました。しかし、その後、機構の執行部が一新され、7月25日の社員総会において、「2017年度の研修も更新も学会認定制度で行ってほしい」との方針が出されました。このような状況で、機構認定専門医の導入は実質不可能であることから、学会理事会では「次回更新における機構専門医の導入を見送り、学会専門医としての更新のみとする」との方針を緊急決定しました。

現時点で、いつから機構専門医を導入するかは未定です。これまで獲得した、またはここ数年で獲得が見込まれる機構専門医更新用の単位については、有効活用できるような方策を考えていくつもりですので、しばらくは廃棄せず保持してください。どうしても活用できないものについては、誠に申し訳ないことで深謝いたします。

今後、時間をかけて臨床検査専門医の適切な更新基準につき、機構側と協議していく所存です。なにとぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。以下に追加説明をいたします。

【2017年1月付け更新予定の方】

従来どおりの学会認定制度で更新手続きを行ってください。リスクマネジメント講習においては、機構専門医としての受講証しかない場合はそれを利用してください。また、2016年度(本年度)に受けた講習も、次の更新に利用できる可能性がありますので、受講証は保存してください。

【2017年度以降に更新予定の方】

いつから機構専門医を導入するか未定ですが、機構専門医用の単位所得を目指しておれば学会専門医としての更新基準はほぼ満たされますので、現時点での機構専門医更新基準をよく理解して単位取得に努めてください。今後、移行期間の単位構成の考え方など決まり次第案内します。これまで獲得した、または本年度獲得が見込まれる単位の活用についても案内しますので、受講証はしばらく保持してください。

不明な点は学会事務局office@jslm.orgまでお尋ねください。

日本臨床検査医学会
臨床検査専門医 各位

日本臨床検査医学会 理事長 矢富 裕
専門医・教育担当理事 山田 俊幸

「第63回学術集会における単位認定講習会のDVD配布について」

平素、当学会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。

第63回学術集会において日本専門医機構認定専門医資格更新の単位が認定されている講習会のうち、一部のものを録画してDVD化し、聴講できなかった方に希望があれば一講習1,000円で有料配布することを予定しております。今回はDVDを購入したことで、単位取得とします。注文などの詳細は後日学会HPで案内いたします。

【対象となる講習会】(いずれも9月4日に予定されている講習会)

・RCPC1

- ・RCPC2
- ・臨床検査専門医catch upセミナー1
- ・臨床検査専門医catch upセミナー2
- ・臨床検査専門医catch upセミナー3

日本臨床検査専門医会 事務局(水・土日祝祭日は休業日)
TEL 03-3864-0804
Fax 03-5823-4110
E-mail:senmon-i@jaclp.org

JACLaP WIRE No.180 (臨時増刊号) (2016年 8月 4日)
☆発行:日本臨床検査専門医会[情報・出版委員会]
☆編集:JACLaP WIRE編集室 編集主幹:盛田 俊介
東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部
TEL:03-3762-4151(内線3432)・FAX:03-3762-9730

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております !

メーリングリスト配信先の変更には
1.氏名, 2.現行登録アドレスと3.変更希望メールアドレスを添えて
senmon-i@jaclp.orgまで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。